

全国中国語教育協議会

ニュースレター

第4号

1997年12月1日発行

全国中国語教育協議会の発足に際し

会員の皆様にご挨拶とお願い

全国中国語教育協議会が正式に発足いたしました。本会は一言で申せば欧米諸国に見られる中国語教師協会に似た組織であり、会員相互の経験交流を通じて自らの向上を図るとともに、わが国における中国語教育の普及と発展を目指すことを目的としております。すでに昨年10月の関西大学における準備会全国大会以来、組織づくりのPRをはじめ、ささやかな活動を続けてまいりました。

本会は、会則に定める通り、中国語教員の研修会・交流会および研究会の開催、会報・資料集・論文集の刊行、中国語教育に関する情報の収集と提供等を主たる事業としています。この夏にはすでに第1回教員セミナーを4日間をわたって開催し、北京大学の陸儉明教授、馬真教授、北京言語文化大学の李明教授、東京外国語大学の孫玄齡教授らによる講義と朗読指導は、参加者にも好評でした。今後、このような研修・交流活動と、会員の個人研究と共同研究による中国語の教育課程や教育内容にわたる研究活動に力を注ぎます。本会の経費はすべて会費と寄付金により、また諸活動では参加者にその都度、経費負担をしていただくこととなります。また、諸活動による成果は社会的な財産として提供し、一般に利用できるものとし、事務局は弱体ですが、まず組織の基礎固めに集中し、所期の目的が達成できるよう努力いたしますので、会員各位のご協力をお願い申し上げます。

全国中国語教育協議会 会長

興 水 優

※10月24日に開催された第1回全国大会の詳細については本号P.2をご覧ください。

新会員勧誘のお願い

本会は中国語教育に従事する個人を会員の資格とします。大学、高校、専門学校、講習会、私塾、個人教授を問いません。中国語教育に携わっている方（大学院生で中国語講師をしている方々を含む）で、入会ご希望の方には申込書、会則、会費振込用紙を郵送します。事務局あてにハガキでご請求ください。

事務局のご案内

〒156 東京都世田谷区桜上水3-25-40
日本大学文理学部中国文学研究室内
全国中国語教育協議会
郵便振替口座 00120-0-364168
(会費・寄付金振込にご利用下さい)
なお、お問い合わせ・ご連絡等は、
お手数でも郵便でお願いいたします。

全国中国語教育協議会第1回(設立)大会開催報告

この1年間、準備会活動をつづけてきた全国中国語教育協議会の正式発足に向けて、第1回全国大会が、去る10月24日(金)午後2時から、東海大学湘南校舎松前記念館で開催された。昨年の準備会大会と同様に、出席の便をはかり、日程を翌25日から開かれる日本中国語学会に日程を合わせたのが、平日で、やや交通不便の地であったこともあり、出席者の総数は約50名であった。ちなみに現在の会員総数は約200名である。当日、授業等でやむなく欠席された方々から寄せられた意見、資料送付希望、カンパも多数あった。語学会の会員外で、特にこの会合だけに遠路参加された方々も少なくなかった。以下に極めて簡単ではあるが、当日の模様をご報告申し上げる(文責編者)。

- 1 開会あいさつ 暫定運営委員代表の輿水優氏(日本大学)が開会のことば。
- 2 司会者選任 暫定運営委員の榎本英雄氏(明治学院大学)を満場一致で選任。
- 3 会員有志の提言 あらかじめ委嘱した有志の方々に、中国語教育および協議会活動等についてお話をしていただいた。①荒屋勤(暫定運営委員・大東文化大学)氏 大東文化大学における中国語の授業等のご紹介。②小寺研(暫定運営委員・大東文化第一高校)氏 高校の中国語教育の現状紹介と教科教育法、教育実習の問題等について。③平井勝利(暫定運営委員・名古屋大学)氏 協議会の今後の進め方について、支部活動をはじめ種々の具体的提言。④中野達(暫定運営委員・國學院大学)氏 協議会の設立は渴望していたものとして評価。⑤清水登(茨城大学)氏 夏季セミナーの参加者として感想を述べ、経験交流の提言。教育と研究は車の両輪という認識を。
- 4 準備会経過報告 昨秋来の活動状況を暫定運営委員代表から報告。特に今夏のセミナーが出席者に好評であったことを説明。
- 5 協議会設立の提議 暫定運営委員代表から、正式発足の提案。
- 6 会則審議 すでに運営委員の間で通信による討議を経た会則案について、全体の趣旨説明と逐条説明の後に、討議の上、原案通り承認。論議は学会か、協議会か、あるいは教育者協議会か、といった名称の問題に集中。暫定運営委員代表から、大学・高校・専門学校と幅広く会員を結集し、活動を展開するにも原案がふさわしい旨の説明あり。
- 7 役員選出 会則の役員選出条項に従うことを確認の上、今回は設立当初でもあり、会長については暫定運営委員が郵便投票で選出した結果を報告し承認を得ることとなり、投票総数8票(有権者12名)、ほかに無効(遅延)1票、その結果、輿水優暫定運営委員代表が得票数8票で会長に選出された。つづいて、理事若干名について今回は会員10名につき理事1名程度を選出すること、現在の暫定運営委員は本人のお申し出がない限り、そのまま理事に移行し、今回の会員総会では会場で10名の理事を投票で選出すること等が承認され、ただちに10名連記の無記名投票が行われた。結果は次ページに掲載する。
- 8 役員あいさつ 開票中は自由発言とし、開票後に会長の就任承諾の挨拶があった。
- 9 閉会 定刻を過ぎ、席を移して祝賀のミニ・パーティーに移った。会場を提供された東海大学のご厚意で、テーブルも華やかに、歓談の輪がひろがった。心から感謝したい。

全国中国語教育協議会役員名簿

前ページに報告の通り、第1回大会の会員総会で選出された役員の名簿をかかげます。なお、会則第8条により、代表理事は理事の中から会長が委嘱しました。会計監査と幹事の委嘱は次号会報で発表いたします。

会長 輿水優(日本大学)

代表理事 中野貞弘(兵庫県立神戸商業高校) 西川優子(中国語教育研究会) 依藤醇(東京外国語大学)

理事【暫定運営委員から移行した理事】(50音順) 荒屋勸(大東文化大学) 今西凱夫(日本大学) 榎本英雄(明治学院大学) 大河内康憲(大阪外国語大学) 桑山哲郎(関西高校) 小寺研(大東文化大学第一高校) 中野達(國學院大学) 平井勝利(名古屋大学) 吉田隆司(日中学院)

【総会の投票で選出された理事】(50音順) 相原茂(お茶の水女子大学) 大川完三郎(國學院大学) 金丸邦三(大東文化大学) 郭春貴(広島修道大学) 清水登(茨城大学) 高橋弥守彦(大東文化大学) 武信彰(明治大学) 陳文正(日本大学) 菱沼透(創価大学) 古川裕(大阪外国語大学) 守屋宏則(明治大学)

(注)投票の際に定員10名と定めたが、同数票は当選とする処置を追加ご承認いただいた。

※今回の会報に、別紙で会則と会計報告(中間)を同封しましたので、ご覧ください。

全国中国語教育協議会第1回大会 会計メモ

収入	参加費	会員45	非会員(出版社等)8	計53	¥26500
	夏季セミナー・コピー売上			計21	¥10500
	寄付金	某大学研究室、白帝社、白水社、同学社、三修社 立石廣男、荒屋勸、松本洋子、滝澤恭子、榎本英雄、 無名氏			
				計11件	¥173500
		(10万+2万+1万+1万+1万+9500+9500+3000+500+500+500)			
				合計	¥210500
支出	懇親会				¥50000
	交通費(バイト4名)				¥15000
	事務局経費(事後含む)				¥15000
				合計	¥80000
残金					¥130500 (通常経費に組み入れました)

✂ 原稿募集 ✂ 中国語の教室における教え方の工夫やアイデアをご紹介ください。たとえば、黒板に作文の答えなどを書かせるときに、ノートを持たせないことで、自然に暗唱をするようになる、など。✂ こんな工夫 ✂

研究会開催のお知らせ

日時 1998年1月24日(土)
午後2時～4時半
場所 (財)国際文化フォーラム会議室
東京都新宿区西新宿2-7-1
新宿第一生命ビル26階
交通 JR・地下鉄 新宿駅西口
最も便利なのは地下鉄丸の内線
西新宿駅下車すぐそばです。
人と題 平井和之氏(東京外国語大学)
演題未定
輿水優氏(日本大学)
教室中国語を考える
会場費 1,500円(予定)
☆中国語教育研究会に参加したことのある方には別途ご案内の予定です。

【中国語教育研究会の紹介】

すでに10年余の歴史をもつ研究会です。中国語を教える若手の教員に実際的な知識や教学経験を伝えることを主旨としてスタートしました。初期には中国語研修学校の教室を借り、酸欠状態になるほど盛況だったときもありました。現在は、左記の国際文化フォーラムの会議室を借用して、年に2回の研究会を開き、毎回平均40人ほどが参加しています。テーマは毎日の教室で生ずる、日常的な問題から、実践と理論をむすびつけた報告を重んじています。輿水優氏は毎回連続報告を担当しています。今回の研究会から、全国中国語教育協議会と共催になりました。中国語教育研究会の世話人(代表)は本会理事の西川優子氏です。

◆◆◆ 活動ニュース ◆◆◆ 前号でもご紹介したように、夏季セミナーのアンケート調査では土曜日の研修会を望む声もあり、事務局では98年の年明けとともに、月平均1～2回の開催を目標に、交通の便のよい場所で、教室文法講座、音声講座、朗読指導、経験交流会等を計画している。詳細は次号会報(2月中旬に発行の予定)でお知らせする。夏休み等の長期休暇期間中は大学の設備を利用し、集中的なセミナーを開く予定。98年度は7月下旬の見込み。これらの活動に関してご希望やご意見があれば、ぜひお寄せいただきたい。

◆◆◆ 活動ニュース ◆◆◆ 会報は本号のような告知版を年間4回以上は発行したい。手製のワープロ版で見苦しいが、手軽に連絡が出来るので、今後もこの方式は残したい。しかし、研究報告や保存資料の掲載される場合は外注で印刷したものをお届けする。時間と費用の問題があるので、年間1～2回刊であろう。目下のところ事務局とは名ばかりで、会長兼事務局員1名のみにつき、不行き届きの点はお許しいただきたい。

全国中国語教育協議会 会報《ニューズレター》 編集・発行

(事務局)〒156 東京都世田谷区桜上水3-25-40

日本大学文理学部中国文学研究室内 全国中国語教育協議会

全国中国語教育協議会 会則

1997年10月24日制定

- 第1条(名称) 本会は全国中国語教育協議会と称する。
- 第2条(目的) 本会は中国語教育に従事する者が研鑽と交流を深めるとともに、わが国における中国語教育の普及と発展を図ることを目的とする。
- 第3条(活動) 本会は上記の目的を達成するため、次の事業を行う。
1. 中国語教員の研修会、交流会および研究会等の開催。
 2. 会報および中国語教育に関する資料集、論文集等の発行。
 3. 関係団体との連絡および中国語教育に関する情報の収集と提供。
 4. その他、前記目的に合致する各種活動。
- 第4条(会員) 本会の会員は中国語教育に従事する者で、本会の設立趣旨に賛同し、所定の会費を納入した個人とする。国外居住者は国内連絡先を届け出た場合にかぎり、会員の資格を得る。
- 第5条(会費) 本会の経費は会費および寄付金による。会費は年額2,000円とする。会費は各年度初めに郵便振替によって納入する。2年間にわたり納入のない場合は、3年目に会員資格を失う。
- 第6条(役員) 本会の活動を円滑に遂行するため、次の役員を置く。
1. 会長 1名
 2. 代表理事 若干名
 3. 理事 若干名
 4. 会計監査 2名
 5. 幹事 若干名
- 第7条(役員の仕事)
1. 会長は本会を代表し、会務を総括する。
 2. 代表理事は会長を補佐する。
 3. 理事は会務の遂行にあたる。
 4. 会計監査は経理を監査する。
 5. 幹事は日常の会務を処理する。
- 第8条(役員を選出と任期)
- 会長、理事は総会において選出する。選出方法に関しては別に定める。代表理事は選出された理事の中から会長が委嘱する。会計監査ならびに幹事は会員の中から会長が委嘱する。
- 役員の仕事は次回総会までとし、再任を妨げない。ただし、会長の再任は1回にかぎる。役員は就任時に満68歳を超えてはならない。
- 第9条(会計年度と総会) 本会の会計年度は毎年4月に始まり、翌年3月に終わる。会長は隔年に総会を召集し、本会の運営、会計、事業等を議するものとする。

全国中国語教育協議会(準備会) 運営参考資料

I 97年度会計中間報告(97年4月～10月17日現在)

収入

会費 @ 2,000×159=318,000	(ただし、内1名は二重払い)
寄付金 1万×2+8千×2= 36,000	*平井勝利氏、荒岡啓子氏、中野達氏、臼田真佐子氏
合計	<u>354,000</u>

支出

切手・葉書	85,780
事務用品	5,668
事務費(会議費・バイト等)	40,000
夏季セミナー赤字補填	5,292
合計	<u>136,740</u>

残高 217,260

II 97年度暫定会費期間の支出計画(予算) →すでに執行中のもの(Iを参照)

収入

会費等(170人納入として)340,000

支出

郵便代	120,000
事務費	110,000
会報その他活動費	110,000
合計	340,000

III 96年夏～97年3月の活動諸経費(参考資料)

切手・葉書	90,600
事務用品	9,681
事務費(会議費・バイト等)	46,841
交通費	90,000 (関西大学での大会にバイト等派遣)
合計	237,122 (代表委員による立替金)

IV 97年8月 夏季教員セミナー収支(参考資料)

収入

参加費 18,000×24名 #	432,000
寄付金	25,000
合計	457,000

申込26、辞退2、欠席1

支出

講師謝礼 1コマ25,000×9	225,000
録音診断謝金	20,000
陸・馬教授旅費・宿泊費(2名)	140,000
講師打合せ会議費・講師食事等	54,253
茶話会	16,039
お手伝い謝礼	7,000
合計	462,292

赤字 Δ 5,292 ⇐⇐